

○3節-2 ノリ養殖業・貝類漁業対策

2-(2) ・アサリの冬季減耗対策

・網袋を利用したアサリ育成技術開発試験

1) 目的

三番瀬はアサリの冬季減耗により生産量が減少する。網袋により冬春季のアサリの保護育成効果などを評価することで、冬季減耗が軽減され生産現場での応用が可能か検討する。



2) 内容 (全体計画：平成 26～28 年度)

育成技術の検討 (平成 26 年～27 年)
 育成適地の検討 (平成 26 年～27 年)
 最適な育成技術の評価 (平成 28 年) } ※漁業者との共同調査

3) 前年度予備試験の結果概要 (11 月～3 月)

・図 1 の①～③で実施し、推定生残率は概ね①と ②が 90%以上、③が 80%未満で③では埋没により斃死したと考えられた。

→ 三番瀬では沖合部の波浪、砂の流動が激しい場所よりは岸側が適している。

4) 調査内容

- 調査期間 : 平成 26 年 12 月～平成 27 年 5 月
- 設置場所 : 図 1 の①における岸側と沖側の 2 か所
- 網袋の構成 : 網袋の大きさ 40 cm×60 cm、目合い 4or6 mm、材質ポリエチレンとナイロン、84 袋設置
- 基 質 : 6L/袋、軽石と砂利の組合せで 3 パターン
- アサリ種苗 : 1kg/袋(殻長平均 30 mm)
- 設置方法 : コンポーズパイプでロープを海底に固定し、固定されたロープへ万国旗状に網袋を設置。

5) 結果 (2月21日までの経過)

- ・ 生残率は試験区では92~96%であり、対照区(種苗採捕域)は42%である(図2)。
- ・ 殻長は沖側の試験区では1mm程度、岸側では0.5mm程度開始時からそれぞれ成長した。
- ・ 肥満度は沖側の試験区では23.4~24.7、岸側では22.9で対照区は18.3である(図3)。

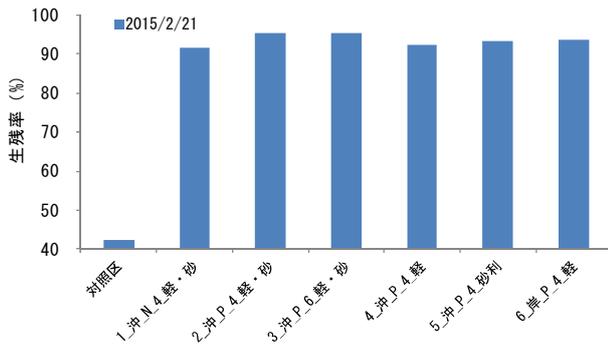


図2 生残率 (横軸ラベルは番号_場所_材質_目合_基質を示す。)

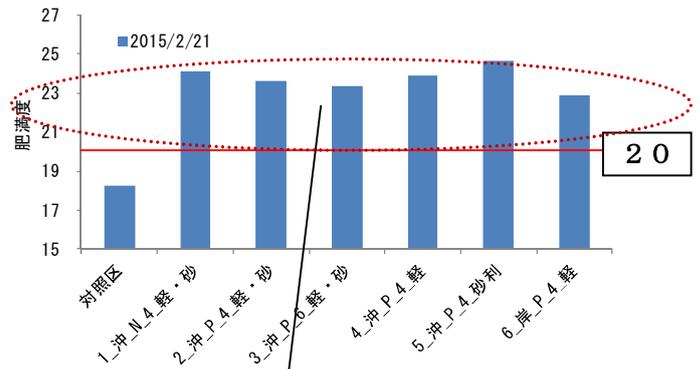


図3 肥満度

$$\text{肥満度} = \frac{\text{軟体部重量 (g)}}{(\text{殻長 cm} \times \text{殻幅 cm} \times \text{殻高 cm})} \times 100$$

○試験区は、通常、アサリの見入が悪くなる冬場でも、20%以上の肥満度であり、身入りの良いアサリが出来ている。